

地元の宝 間近で見学

ふるさと昔研究会 乙事区の文化財学ぶ

富士見

富士見町瀬沢
新田の文化を継
承する住民組織「ふるさと昔
研究会」は15日、同町乙事区

が保管する法隆寺関連の文化
財と乙事諏訪神社の見学を行
った。住民約10人が参加。乙
事区役所2階に安置される仏

像などを見学し、地元の歴史
に対する理解を深めた。
この日は乙事の歴史に詳し
い三井芳章さんらの案内で江



乙事区役所2階に安置する仏像を前に大般若経の
一部を見学者に紹介する三井芳章さん（中央）

戸初期の1652（承応元）
年に創建された法隆寺などの
歴史を学んだ。寺は後に上社
如法院に属すことになり、神
仏分離時には如法院から多く
の仏像や仏具を引き取った。

座学では、如法院の本尊だ
った大日如来坐像や、186
8（明治元）年の如法院廃止
に併せ、旧乙事村の人々が当
時の金額で60面を納めて引き
取ったとされる経典の大般若
経を間近に見学した。

三井さんは「2分ほどで読
経できる般若心経は大般若経
の要点を凝縮しているが、実
際の大般若経は600巻もの
分量がある」と説明。毎年8
月には全巻を棚から出して読
経する通称「風通し」を実施
していることも紹介した。

瀬沢新田のふるさと昔研究
会は一昨年12月、「地域の歴
史を再認識し、後世に継承し
よう」と発足。毎月1回の学
習会をはじめ、現地見学会を
開いている。